



平成 20 年 8 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー
代表者名 代表取締役社長 高橋 克典
(JASDAQ・コード番号：2777)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 小林 要介
電 話 03-5725-4171

平成 20 年 12 月期 (連結・個別) 中間期及び通期業績予想

並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、平成20年2月29日に発表いたしました平成20年12月期(平成20年1月1日～平成20年12月31日)の業績予想並びに期末配当予想の修正を本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期 連結業績予想数値の修正

(1) 中間期 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	5,000	157	146	83
今回発表予想 (B)	4,123	△189	△153	△321
増減額 (B) - (A)	△877	△346	△299	△404
増減率 (%)	△17.5	—	—	—
平成 19 年 12 月期中間期実績	5,167	212	254	158

(2) 通期 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	10,500	470	448	258
今回発表予想 (B)	8,300	△407	△365	△545
増減額 (B) - (A)	△2,200	△877	△813	△803
増減率 (%)	△21.0	—	—	—
平成 19 年 12 月期実績	10,306	372	662	438

2. 平成20年12月期 個別業績予想数値の修正

(1) 中間期（平成20年1月1日～平成20年6月30日）

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	5,000	106	100	58
今回発表予想(B)	4,117	△209	△154	△306
増減額(B)－(A)	△883	△316	△253	△364
増減率(%)	△17.7	－	－	－
平成19年12月期中間期実績	5,153	175	180	110

(2) 通期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,500	362	350	203
今回発表予想(B)	8,300	△425	△375	△530
増減額(B)－(A)	△2,200	△787	△725	△733
増減率(%)	△21.0	－	－	－
平成19年12月期実績	10,257	344	355	105

3. 業績予想の修正理由

当期におきましては、昨年米国で発生したサブプライム問題に端を発した金融収縮や原油を始めとする原材料価格の高騰などにより、企業における設備投資意欲の鈍化に加えて、高額商品や耐久消費財に対する個人消費の動向も低調な動きが継続しております。このような環境においても、当社は魅力ある商品とお客様のインテリアに対するニーズを具現化していく提案力によって、年初に計画した業績を確保すべく活動してまいりました。

しかしながら、家具需要の減少傾向が継続しており、来年度については一部に大型案件の引き合いをいただいているものの、年内での明確な回復の手ごたえがつかめないなか、販路、販売エリア、エンドユーザー（法人・個人）のすべての区分で売上予想を下回って推移しており、その結果当社のセグメント別での連結売上の前期発表予想と今回発表予想の乖離が下記の通りとなっております。

<セグメント別連結売上高の前期発表予想と今回発表予想の乖離状況>

○中間期（平成20年1月1日～平成20年6月30日）

単位：百万円

連結売上高	家具事業	生活雑貨事業	その他の事業	合計
前回発表予想(A)	4,350	580	70	5,000
今回発表予想(B)	3,586	473	64	4,123
増減額(B)－(A)	△764	△107	△6	△877
増減率(%)	△17.6	△18.4	△8.6	△17.5

○通期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

単位：百万円

連結売上高	家具事業	生活雑貨事業	その他の事業	合計
前回発表予想(A)	9,140	1,210	150	10,500
今回発表予想(B)	7,210	960	130	8,300
増減額(B)－(A)	△1,930	△250	△20	△2,200
増減率(%)	△21.1	△20.7	△13.3	△21.0

○ 各セグメント別の状況

<家具事業>

コントラクト部門（設計事務所、デザイン事務所経由の販売）においては、建築基準法の改正に伴う建築確認申請の厳格化による建物の竣工時期の遅れや企業の慎重な設備投資計画などにより、受注件数が予想を下回るとともに、受注案件の規模も小さなものとなっております。また、リテール部門（直営店舗での販売）、WS部門（専門店、百貨店、マンションデベロッパーなどを経由した販売）においても個人消費が低調となり、売上の予想を大きく下回って推移しております。この結果、家具事業全体としての売上高は、中間期で3,586百万円（当初予想比17.6%減）、通期で7,210百万円（当初予想比21.1%減）を予想しております。

<生活雑貨事業>

生活雑貨事業の主力ブランドでありますアレッシィについて、採算の悪い卸売販路の取扱いをやめたことで売上高が減少したほか、各直営店舗における個人のお客様の購買動向も低調に推移した結果、生活雑貨事業全体の売上高は、中間期で473百万円（当初予想比18.4%減）、通期で960百万円（当初予想比20.7%減）を予想しております。

<その他の事業>

イベントスペースのレンタル事業においては、リピート顧客による安定したご利用をいただいておりますが、中間期の実績としては当初の予想には届いておらず、通期においても売上予想を回復することは難しい状況にあると判断し、その他の事業全体の売上高は、中間期で64百万円（当初予想比8.6%減）、通期で130百万円（当初予想比13.3%減）を予想しております。

これらの結果、売上高について中間期4,123百万円（当初予想比17.5%減）、通期8,300百万円（当初予想比21.0%減）の予想に修正させていただくとともに、この売上高の減額修正にともない営業利益、経常利益、純利益の予想についても、一般管理および販売費を中間期において190百万円、通期において434百万円削減し収益の確保を図る予定であります。上記売上の落ち込みをカバーするまでに至らず、赤字の予想に修正させていただくことといたしました。

4. 期末配当予想の修正

(1) 平成20年12月期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）配当予想

単位：百万円

	期末配当金	年間配当金
前回発表予想(A)	200円	200円
今回発表予想(B)	0円	0円
前年実績(平成19年12月期)	200円	200円

(2) 期末配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営目標の一つに掲げておりますが、平成20年12月期の業績予想が大幅な純損失を計上する見込みであることに加え、財務体質の強化を図るとともに内部留保を将来における事業展開にあてることで、早期に業績を回復させることが株主様に対する最大の利益還元であると認識し、誠に遺憾ながら期末配当の予想を上記のとおり無配とさせていただく予定であります。

5. その他

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報を前提としておりますので、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上